

世界の動きがわかる!



4th World Water Forum | メキシコ

# 第4回世界水フォーラムと今後の展望

世界の水にかかわる政策決定者、有識者、技術者、企業、NGOなどさまざまな立場の人が一堂に会し、水問題の解決について話し合う「第4回世界水フォーラム」が、3月16〜22日、メキシコ市で開催された。第3回以後、第4回に向けてどのような活動が行われたのか。第4回の成果とは。そして世界の水問題は解決の方向に向かっていくのだろうか。

尾田 孝章 一文  
(特定非営利活動法人日本水フォーラム事務局長)  
text by Oda Hideaki

## 【第4回フォーラムの特徴】

第3回世界水フォーラムが日本で開催されてから1年後、2004年3月にメキシコ市で「キックオフ会議」が開催された。これを契機に、メキシコは官民を挙げて第4回フォーラムの準備に本腰を入れ始めた。第3回の主催・運営に携わったわれわれも、第4回に引き継ぐまでは自分たちの責務と自覚し、準備段階から積極的にかかわり、メキシコを支援した。

はじめ、すべてのロジスティックを担い、WWCはフォーラム運営の上積みだけを支配しようとする傾向があり、葛藤の根は深い。だが、フォーラムは決してWWCだけのものではない。開催国の独自性が尊重されなければならない。それぞれのフォーラムに多様な性が生まれることが重要だと考えるからである。

そのせいもあってか、水道事業の民営化反対論者が今回のフォーラムに参加せず、対抗する形でアンチ・世界水フォーラム (International Forum or the Defense of Water) がメキシコ市で別途開催されることになってしまった。これを主催した一人、カナダ人評議会のモード・パロー代表は、第3回フォーラムでは水道事業の「官民の連携」分科会の共同議長を務めた。今回、同じテーブルを囲むことができなかつたことは残念である。

初日の円卓会議で重要な2つの講演があった。一つは「第3回から第4回世界水フォーラムへ」と題する、第3回以降の世界の水問題の動きを概観したもの。第3回でのコミットメントが実現できなかったかどうかについて報告された。フォーラムの実績が初めてモニタリングされたことになった。

もう一つは「国連水と衛生に関する諮問委員会」からの報告だ。現在精力的に進められている諮問委員会の検討内容を「Year Action Our Action」という行動計画に取りまとめたもので、今後の世界の動きをリードする役割を果たすものと期待されている。

## 【「アジア・太平洋水フォーラム」の誕生】

第4回フォーラムの最大の成果の一つは、間違いなく「アジア・太平洋水フォーラム」

の誕生である。アジア・太平洋地域の水問題の解決に向けた連携を図るための組織だ。今回のフォーラムでは、世界を5地域に分けて準備活動を進め、その成果をフォーラムに持ち込むことが期待されていた。アジア・太平洋地域では、広大な地域を5つのサブ地域に分けて議論を積み重ねるとともに、全体会合で意見の集約を図り、最終的に「アジア・太平洋地域文書」をまとめ上げた。その過程で、準備活動の参加者の自主的な発想で生まれたのが「アジア・太平洋水フォーラム」構想である。

とも期待される。そのような各組織が連携し合うことによって、より大きなエネルギーを生み出すことも夢ではない。大きな可能性を秘めた活動が動き出したといえよう。

今後、アジア・太平洋地域で始まる活動がほかの地域に影響を及ぼし、それぞれの地域で同様の組織が生まれること

水問題は深刻化しつつある水資源問題の解決策を追求するため、1996年に設立された「世界水フォーラム」は、3月22日の「世界水の日」を含む時期に開かれ、第1回は97年にモロッコで、第2回は2000年にオランダで開催された。

## Column

### 皇太子殿下の基調講演

今回のフォーラムの目玉として企画された基調講演シリーズの剪頭を飾り、皇太子殿下が「江戸と水運」と題して基調講演をされた。ロンドンのテムズ川の水運、特に開閉できる(壱)の発達史を踏まえて、日本で現存する最古の開門式運河(水位差のあるところに堰を造り、水位を調節して船を通す運河)である見沼通船堀が果たしてきた役割から説き起こし、当時の世界の大都市・江戸を支えた「江戸と水」の関係や「人と水」の多様なつながりを分かりやすく説明された。世界の水問題、グローバルな課題の解決に際しても、その地域が抱える伝統と文化を踏まえて初めて本当の解決策になることを力強く訴えかけられ、世界の人々に深い感銘を与えられた。

日本水フォーラムのホームページ(<http://www.waterforum.jp>)に、第4回世界水フォーラムの概要速報が掲載されている。